

## 子育て支援

### ✿ 子育て支援センター「ぼかぼか」

子どもを自由に遊ばせながら、子ども同士、親同士が友達になったり、育児の不安や悩みを語り合ったり、情報交換する場です。（＊毎月のイベント情報は子育て情報誌「ういず」に掲載されています。市のHPからも閲覧可能。）

【開所日】火～土曜日 10時～15時  
【場 所・問い合わせ】  
糸島市交流プラザ志摩館2F（志摩初30）  
092-327-2260

<ぼかぼか広場>  
水・木・金・土曜日：10時～15時  
火曜日：13時～15時

<ぼかぼか教室>  
火曜日：10時～12時 1ヶ月に2回程度



### ✿ みつばちおうちえん

みつばちおうちえんは、みんなで遊べる小さなうち。お庭のある一軒家を子育て広場として開放しており、0歳～6歳までの子どもたちが庭や木のおもちゃなどでゆったり遊べます。穴ほり、木登り、自然の中でのびのび遊びませんか。毎回申込み制です。開催日はブログをご覧ください。

【場 所】志摩久家648-3 【問い合わせ】090-6004-7038（オオマツ）

### ✿ 保育所での子育て支援

引津保育園・るんびに保育園では、子育て支援事業を行っています。ご希望の方はお問い合わせの上、ぜひ気軽に足を運んでみてください。



**引津保育園**（志摩久家2913-9 / 092-328-3440）  
子どもたちがのびのびと遊べる場を開放し、子育て中の方の育児相談や、育児講座を行っています。運動会などの様々な行事にお子さんと一緒に参加できます。（要予約）

**るんびに保育園**（志摩新町392-2 / 092-328-2540）  
「一緒に楽しく子育て」をモットーに、未就学児を対象とした育児相談、心療内科医による電話相談、子育てサークル対象の育児講座ほか、園庭開放や絵本の無料貸し出し等を随時行っています（要予約）。全て無料で行っていますのでお気軽にお問い合わせください。



### 保育所での一時預かり

急用の時、保育所に入所していない子どもを一時預けることができます。時間・料金などは市のHPを参照して、直接保育所にお問い合わせください。

### 糸島市ファミリー・サポート・センター（いとしまファミサポ）

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業です。

【問い合わせ】092-332-8717

### 病児・病後児保育施設「コアラ」

仕事などで保護者が昼間留守にする場合、病気の回復期、または病状の急変が認められない状況にあるお子さん（生後3か月～小学6年生まで）を一時預かりします。

【問い合わせ】092-322-9720



## 近隣の直売所



### JF糸島 志摩の四季

【場 所】志摩津和崎33-1  
【営業日時】8時半～17時半 盆正月定休日  
【電 話】092-327-4033

### 芥屋物産直売所 大門

【場 所】志摩芥屋732  
【営業日時】9時～17時 平日定休日（土曜日・日曜日営業）  
【電 話】092-328-2914

### 小富士物産直売所 愛菜

【場 所】志摩小富士947  
【営業日時】7時～17時 盆正月定休日  
【電 話】092-328-2684

## 近隣の水汲み場



### 船越山のおいしい水

【場 所】志摩船越84（「北伊醤油」蔵となり）  
【料 金】無料



自分で作る野菜は世界一！

### 市民農園 & 収穫体験施設

自然と触れ合いながら、作物を自分の手で育てたり、収穫する喜びを体験してみよう！

はまぼうの里（市民農園型）	小富士貸農園（市民農園型）
【区画数】117区画（30㎡/区画）	【区画数】51区画（30㎡/区画）
【利用料】7,000円/年	【利用料】7,000円/年
【場 所】志摩小富士89-1他	【場 所】志摩小富士942他
【問い合わせ】090-5942-8627	【問い合わせ】090-8622-1592

\*市民農園型...利用者が自ら種苗、肥料、農具などを用意し耕作をおこなうもの。

### かまた農園（収穫体験）

【内 容】みかん狩り、いも掘り 【場 所】志摩御床1780付近  
【問い合わせ】092-328-1710 / 090-1877-6457  
\*料金、開園期間についてはお問合せください。



### 糸島市子育て世代応援サイト



いとネット

糸島市が運営する子育て世代の生活を応援する会員制ポータルサイト「いとネット」にぜひご登録ください！会員は、協賛店からさまざまなサービスが受けられ、市から子育てに関する情報を受け取れます。

## 地域のとびき



## 引津（ひきつ）校区



# 引津(ひきつ)校区



## 基本情報

最寄駅：JR筑前原駅・JR加布里駅

人口：5,264人

世帯数：2,151世帯

行政区名：小富士(こぶじ) / 御床(みとこ) / 松原(まつばら) / 東貝塚(ひがしかいづか) / 西貝塚(にししかいづか) / 寺山(てらやま) / 香月(かつげ) / 久家(くが) / 船越(ふなこし) / 志摩新町(しましんまち) / 岐志岡(きしおか) / 岐志浜(きしはま) / 芥屋(けや) / 野辺福ノ浦(のべふくのうら) / 姫島(ひめしま)

小中学校：小学校...引津小学校 / 児童数236人・学級数12 / 姫島小学校 / 児童数4人・学級数2 / 中学校...志摩中学校 / 生徒数404人(姫島分校3人)・学級数14(姫島分校2)

人口・世帯数は平成30年3月末、小中学校の情報は平成30年5月末現在

## 校区・行政区とは？



糸島市には小学校が16校、中学校が7校あり、この小学校の通学範囲を「小学校区(校区)」といいます。また、糸島市からの連絡文書の配布・回覧など市政の円滑な運営を図るため、市域を163の区域に分けており、この区域を「行政区(自治会)」といいます。主に、これらの小学校区・行政区単位でお祭り、伝統文化の継承、清掃活動、安全パトロールなど、安心して住みよいまちづくりのため、様々な地域活動に自主的に取り組んでいます。特に、大規模災害など、いざというときに頼りになる「地域のきずな」づくりに向けて、ふれあいの輪を広げて人々の連帯意識の向上に努めています。

## 自治組織に加入するには？

新しいまちでのコミュニケーションの第一歩として、住みよい地域づくりのために様々な活動を行っている「自治組織(自治会、町内会)」に加入しましょう！

加入は、お住まいの地域の行政区長に申し出て下さい。お住まいの行政区長がご不明なときは、糸島市地域振興課(092-332-2062)までお問い合わせください。

行政区によって金額は異なりますが、地域交流活動や環境保全活動の費用として、年間一定額の区費を収める必要があります。また、行政区によっては、入区費用を収める必要がある場合もあります。



## 行政区長さん、地域コーディネーターさんがいます！

各行政区には、その区をとりまとめる区長さんがいます。また、生活に密着した地域の情報提供や、日々の生活に関する不安や疑問の解消を目的に、地域コーディネーターさんも配置しています。区長さんや地域コーディネーターさんに聞いてみたいことや、案内してほしい場所があれば、お気軽に糸島市地域振興課(092-332-2062)までお問い合わせください。

## 先輩移住者の声

地域の人との交流も盛んで、三世代で住んでいる家が多く、おじいちゃんおばあちゃんたちが協力的です。海は芥屋の海水浴場や寺山海岸が好きです。冬は牡蠣小屋にも行きます。夏は近くでホテルも出るし、星はものすごくよく見え、四季を通じていいところがいっぱいです。引津小学校では、校区内にある醤油蔵や船越のいりこ工場を社会見学に行きます。これらの食材は給食にも使われており、食育にもなっていますよ。

引津校区在住・40代女性



上/芥屋の大門 下/小富士梅林

ここが引津校区の特長！

## 青い

空と、マリンブルーの海。糸島のイメージ写真によく使われる風景は引津校区にある芥屋・幣の浜の風景です。農村集落と漁村集落があり、人が良く働きの多いのが校区の自慢。農産物や海産物が豊富で、四季を通じて見どころが多い地域です。



## 芥屋の大門(けやのおと)

玄界灘の荒波にそそり立つ「芥屋の大門」は、日本三大玄武洞の中でも最大のもの。海蝕によってできた洞窟は、黒々と口を開き神秘的です。3月から12月までは、芥屋漁港から遊覧船で約25分、紺碧の海と洞窟内の蜂の巣状の天井など大自然が造り出したアートを楽しむことができます。

## 芥屋海水浴場

芥屋海水浴場は、透明度が高く大変美しい海岸です。近くにある旅館や民宿などでは玄海灘で獲れた新鮮な魚を堪能することができます。また、8月末から9月上旬には音楽フェスティバル「Sunset Live」が開催され、多くの人でにぎわいます。



## 幣の浜(にぎのはま)

幣の浜は、芥屋の大門と野北浜を結び6キロメートルに至る弓張形の砂浜で、日本の白砂青松100選にも選ばれています。四季を通じて多くのサーファーでにぎわい、春の海岸散歩や夏の海水浴としても好評です。また、海岸沿いにある「芥屋ゴルフ倶楽部」は、毎年8月に男子プロゴルフトーナメントが行われるゴルフ場として有名です。

## 風止め相撲

芥屋の大祖(たいそ)神社相撲場では、毎年9月1日の八朔(はっさく)祭と併せ、五穀豊穡を祈願する神事として「風止め相撲」が行われます。地元の小学生や大人がまわし姿で奉納相撲を行うほか、その年初めて八朔(旧暦の8月1日)を迎えた男児が抱えられて土俵入りし、健やかな成長を祈願します。相撲といえば、引津校区の子ども達が通う引津小学校グラウンドには屋根付きの常設土俵があります。毎年7月には行政区対抗の相撲大会が開催され、白熱した戦いが繰り広げられます。



## 小富士梅林

2月中旬ごろになると約3000本の美しい梅が見ごろを迎えます。白梅・紅梅の美しいコントラストと眼下に広がる船越湾の風景は絶景です。

## カキ小屋

引津校区の漁港には、冬場、水揚げしたばかりのカキをその場で焼いて食べる「カキ小屋」が立ち並びます。多くの人々が焼カキを楽しむ姿は冬の風物詩となっており、市内で最も多くのカキ小屋が立ち並ぶ地域として観光客が多く訪れます。

## 自主運行バス

引津校区では、駅やバス停から離れている公共交通が不便な地域を縮減するため、「自主運行バス(愛称 ひきつ号)」の取り組みを行っています。ボランティアの運転手やスタッフによりバスの運行を行うもので、乗車賃は無料。詳細は自主運行バス協議会(引津公民館内 092-328-0855)までお問い合わせください。

## 姫島

校区にある糸島市唯一の離島である姫島は、幕末の女流歌人で福岡藩士の妻でもあった野村望東尼(ぼうとうに)が島流しにあった場所としても有名で、彼女が幽閉されたお堂には記念碑があり毎年歴史ファンが足を運んでいます。岐志から市営渡船「ひめしま」が1日4往復運航しています(所要時間16分)。



左/芥屋風止め相撲 右/糸島のカキ